防医大学園祭で父母会が相談会を実施

埼玉地本（本部長・山本方之1空佐）は10月12日（土）、13日（日）の両日、埼玉県所沢市にある防衛医科大学校で開催された「第38回並木祭」で広報を実施した。

当日は学生隊舎前に広報ブースを開設し、パネル展示や、戦闘糧食の展示などを行い、珍しそうに集まる来場者に対してPR活動を行った。

また同ブース内に防医大埼玉父母会の支援を受け、相談会を実施したところ、自衛隊や医大に興味を持った学生達がたくさん訪れ、興味深く頷く姿が散見された。実際に自分のお子さんを防医大の学生に持つ父母会の皆様は、医大と防医大の違いや、自衛隊医官の苦労話等様々な質問に対し、自衛官目線でなく親の目線で相談に乗っていた。

お子さんを防医大に受験させたいと話す親御からは「話を聞いて防衛医大の医療施設の充実にビックリしました。」や、「災害派遣等で自衛隊の衛生隊員の活躍する姿を見て、防医大を目指す子供に、どんな困難な状況も乗り越えられる医療のスペシャリストになって欲しいです。」等の言葉も聞かれ、有意義な広報が実施できたことを確信した。

埼玉地本は、今後も効果的な広報イベントを実施し、任務達成に邁進していく所存である。